

記入見本「退職所得の受給に関する申告書」

※この記入例は2022年を当年度として作成しておりますが、ご記入の際には、実際の年月日をご記入ください。

1. A欄の記入方法
NRK/Webの「基本情報照会」画面を参考にA③欄を記入します。

基本情報照会

基本情報	プラン情報	拠出情報	給付情報	移換処理状況	帳票出力状況
運営管理機関 運営管理機関登録番号 運用関連運営管理機関 商品グループ 加入状況 加入年月日 勤続期間の起算日 勤続期間の最終日 勤続年数の基礎となる期間 通算加入者等期間 当初加入年月日 脱退事由					

<http://dc.daiwa.jp/>
ログインするにはNRKユーザーIDとパスワードが必要です。
この画面で勤続年数の基礎となる期間の参考情報を得ることができます。

運用指図者
2017 /04/01
2009 /03/05
2022 /03/31
13年1ヶ月
13年1ヶ月
2017/04/01

1年未満は切り上げます。
この例では14年となります。
この年数が5年以下の場合、「うち短期勤続期間」にも同じ日と年数を記入します。

2. B欄の記入方法
今年支払を受けた「退職所得の源泉徴収票」からB欄を記入します。

- ④欄 …源泉徴収票の「就職年月日」⑦と「退職年月日」①を記入
- ⑤欄 …③と④の期間を通算
○もっとも古い日付を「自」欄に、もっとも新しい日付を「至」欄に記入
○「自」から「至」までの期間を年単位で記入(1年未満切捨て)

例) 2009. 3. 5 ~ 2022. 4. 30 は13年2ヶ月 →14年(切り上げ)

3. C欄の記入方法
前年以前19年以内に支払を受けた「退職所得の源泉徴収票」からC欄を記入します。

- ⑧欄…源泉徴収票の 支払金額 ㊥と退職所得控除額 ㊦の関係により記入内容が違います。

○ 支払金額 ㊥ > 退職所得控除額 ㊦ のとき …「自」は「就職年月日」⑦
「至」は「退職年月日」①

○ 退職所得控除額 ㊦ > ㊥ 支払金額 のとき …「自」は「就職年月日」⑦

「至」に記入する日には下記のとおり調整し、金額に応じた日にちを記入します

<調整方法>

■下表の算式を使用して、支払金額から期間を算出します

19年以内の退職手当等の収入金額	算 式
800万円以下の場合	その収入金額 ÷ 40万円
800万円を超える場合	(その収入金額 - 800万円) ÷ 70万円 + 20

800万円以下の場合は、上段の式で計算！

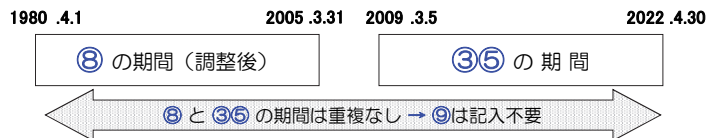
例) (㊥1200万 - 800万) ÷ 70万 + 20 = 25.7年
→ 25年(端数切捨て)

■上記で算出した期間に回答する日にちを記入します

例) ⑦ 1980. 4. 1 から25年後 … 2005. 3. 31 →「至」に記入します

■③⑤の期間と⑧の期間で重複する期間を⑨に記入します

例)では重複しないため、⑨は記入不要です



4. E欄の記入方法
「退職所得の源泉徴収票」今年分、他年分からE欄を転記します。

「Bの退職手当等について」…源泉徴収票から ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ を転記
※「支払いを受けた年月日」は退職所得が支払われた日(振込日)をご記入ください。

「Cの退職手当等について」…源泉徴収票から ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ を転記
※「支払いを受けた年月日」は退職所得が支払われた日(振込日)をご記入ください。

- ◇過去に支払われた退職手当等(退職所得控除適用の一時金)の源泉徴収票をご提出ください。なお、前年以前19年以内に支払いを受けた場合に限りです。
- ◇「退職所得の受給に関する申告書」を提出されない場合は、退職所得控除は適用されず、一時金額の20%(※1)が源泉徴収されます。他の『退職手当等』の支払を受けたことがない方もご提出ください。
- ※1 2013年1月1日から2037年12月31日まで復興特別所得税により、20.42%となります。

他年金の申請書の使用は不可です。

支払(予定)日にあわせて、西暦年(4桁)を記入します。11月中旬までに不備なくご提出が完了する場合は、当年を記入します。
最終拠出が12月になる場合等の理由で支払日が来年になることもありますので、記入内容をダイヤ年金クラブ コールセンターにご確認ください。

確定拠出年金用 記入不要 特定役員退職手当等を受けられた方のみ記入いただく欄 短期退職手当等を受けられた方のみ記入いただく欄

2022 年分 退職所得の受給に関する申告書 兼 退職所得申告書

資産の所在地(住所) 〒000-0000 東京都千代田区〇〇〇1-1-1
氏名 確定 一郎 捺印は不要です。
個人番号 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2
その年1月1日現在の住所 同上

記入不要
「生活扶助の有無」は
いずれかに〇します。

この欄には、すべての人が、記載してください。あなたが、前に退職手当等の支払を受けたことがない場合は、下の①欄以下の各欄は記載する必要がありません。

① 確定拠出年金資産を受け取る
この欄に記入する年月日
② 退職時の所得区分
生活扶助の有無
③ 確定拠出年金資産の拠出期間
この欄に記入する年月日
④ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
⑤ 退職時の所得区分
生活扶助の有無

⑥ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
⑦ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
⑧ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
⑨ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
⑩ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
⑪ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
⑫ 退職時の所得区分
生活扶助の有無

あなたが前年以前19年以内に退職手当等の支払を受けたことがある場合には、このB欄に記載してください。

⑧ 前年以前19年以内の退職手当等
の退職期間
⑨ 前年以前19年以内の退職手当等
の退職期間

⑩ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
⑪ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
⑫ 退職時の所得区分
生活扶助の有無

あなたが前年以前19年以内に退職手当等の支払を受けたことがある場合には、このC欄に記載してください。

⑬ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
⑭ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
⑮ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
⑯ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
⑰ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
⑱ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
⑲ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
⑳ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㉑ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㉒ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㉓ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㉔ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㉕ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㉖ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㉗ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㉘ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㉙ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㉚ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㉛ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㉜ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㉝ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㉞ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㉟ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㊀ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㊁ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㊂ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㊃ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㊄ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㊅ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㊆ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㊇ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㊈ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㊉ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㊊ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㊋ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㊌ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㊍ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㊎ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㊏ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㊐ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㊑ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㊒ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㊓ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㊔ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㊕ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㊖ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㊗ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㊘ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㊙ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㊚ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㊛ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㊜ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㊝ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㊞ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㊟ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㊠ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㊡ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㊢ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㊣ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㊤ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㊥ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㊦ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㊧ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㊨ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㊩ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㊪ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㊫ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㊬ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㊭ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㊮ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㊯ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㊰ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㊱ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㊲ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㊳ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㊴ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㊵ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㊶ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㊷ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㊸ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㊹ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㊺ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㊻ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㊼ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㊽ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㊾ 退職時の所得区分
生活扶助の有無
㊿ 退職時の所得区分
生活扶助の有無

※「申告書の書き方」「注意事項」は裏面にご覧ください。

氏名・住所等の記入をお願いします。

12桁の個人番号をご記入ください。

「勤続年数の基礎となる期間」から、年単位で記入します。
(掛金の拠出されなかった期間は含みません。Webと勤続年数が同じで月数が異なると思われる場合には欄外に月数を記入してください。)

重複する期間がある場合は、記入してください。(1年未満切捨て)

Dに該当する場合は、「申告書の書き方(※)」に従って記入します。

※『退職所得の受給に関する申告書』の裏面にある「申告書の書き方」を指します。

源泉徴収票から転記します。

当年の源泉徴収票見本

令和4年分 退職所得の源泉徴収票

住所または居所 東京都千代田区〇〇〇1-1-1
令和×年1月1日の住所 同上
フリガナ カクテイ イチロウ
氏名 確定 一郎

区分 支払金額 源泉徴収税額 特別徴収税額
市町村民税 道府県民税

所得税法第201条第1項1号並びに地方税法第50条の6第1項1号及び第328条の6第1項第1号適用分 4,000,000円 0円 0円 0円

退職所得控除額 勤続年数 就職年月日 退職年月日
560万円 14年 2009年3月5日 2022年4月30日

(摘要)
支払者 千代田区丸の内〇〇〇 ㊥ 乙株式会社

前年以前19年内の源泉徴収票見本

平成20年分 退職所得の源泉徴収票

住所または居所 東京都千代田区〇〇〇1-1-1
平成×年1月1日の住所 同上
フリガナ カクテイ イチロウ
氏名 確定 一郎

区分 支払金額 源泉徴収税額 特別徴収税額
市町村民税 道府県民税

所得税法第201条第1項1号並びに地方税法第50条の6第1項1号及び第328条の6第1項第1号適用分 12,000,000円 0円 0円 0円

退職所得控除額 勤続年数 就職年月日 退職年月日
1,360万円 28年 1980年4月1日 2008年2月5日

(摘要)
支払者 新宿区新宿〇〇〇 ㊦ 丙株式会社

お問合せ先
ダイヤ年金クラブ・コールセンター
フリーダイヤル 0120-396-401
平日(9:00~20:00)